

かつしかの

第118号

きょういく



葛飾区立小中一貫教育校 「高砂けやき学園」4月、開校

高砂けやき学園の開校にあたって

4月21日に、区議会、国会、都議会議員、高砂地区小中一貫教育推進協議会、区内学校関係者等多くの方々のご臨席を賜り、葛飾区小中一貫教育校「高砂けやき学園」の開校式を挙行了しました。はじめに、葛飾区長より開校の式辞があり、教育委員長より教育活動の旗印となる学園旗を授かりました。

葛飾区教育振興ビジョンには、「小学校と中学校が隣合わせで設置されている5カ所の小・中学校については、将来、校舎改築に併せて小中一貫校にすることも視野に入れ、小中一貫教育の取組を積極的に推進する」「学力向上や豊かな心の育成、体力向上などの取組を効果的に行い、学校運営を充実させていくためには、小学校と中学校の間で円滑な接続や連携を図ることが大切であり、学習指導や生活指導などを9年間通して行うことの良さを生かした学校づくりが必要」と、この教育活動の重要性を謳い上げています。

児童・生徒の発達状況の変化だけでなく、社会情勢の変化を受けて、学校自らが改革・改善を進めることは必要不可欠のものであると、広く国民から求められています。

私たち高砂けやき学園の教職員は、この取組に関わることを、教育者としての本懐であると心得、葛飾区第2番目の小中一貫教育校として、地域及びPTAとの連携・協力の質を高めて、葛飾区の未来を築く人材の育成に努力していきます。

高砂けやき学園の学園名とシンボルマークには、たくましく枝を広げていくケヤキの成長力とそれを支える肩を張った高砂のT、そして四季折々の色づきをしめしていく9つの葉に9学年の教育内容の充実という願いを託しています。

ケヤキの木がその威勢を示すようになるには、数十年の時間が必要ですが、その時、親である初代の子どもたちが、学園を誇りに思い、地域を愛し、葛飾区のために貢献していく人材となることをご期待ください。

葛飾区小中一貫教育校 高砂けやき学園

学園長 木室 忠明